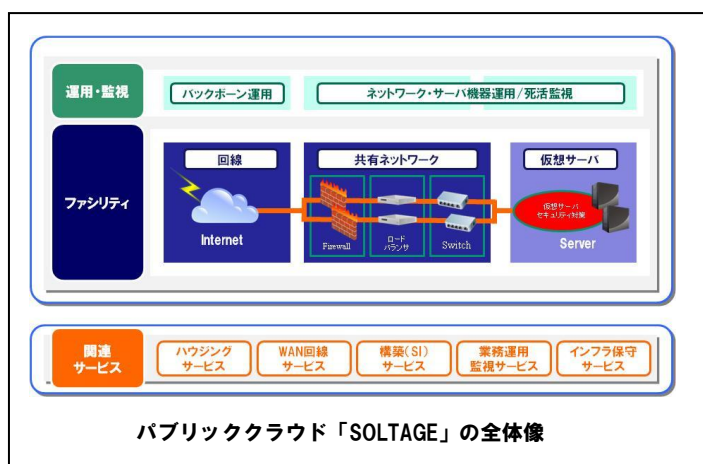


パブリッククラウドサービス「SOLTAGE」の提供を開始
～西東京データセンターにクラウド基盤を構築～

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：坂田正弘、以下キヤノンMJ）とキヤノンITソリューションズ株式会社（代表取締役社長：神森晶久、以下キヤノンITS）は、西東京データセンターを基盤とするパブリッククラウドサービス「SOLTAGE」の提供を2015年9月30日より開始します。既存のプライベートクラウドやホスティングサービス、Amazon Web Services（以下AWS）などの他社クラウドを「SOLTAGE」と連携させ、お客さまに適したシステム基盤の設計や構築サービスを提供していきます。



クラウド市場は2018年度には1兆8000億円を超えると予測され、新規システム構築時にクラウドの活用を検討する企業は8割に増加するなど、「クラウドファースト」の流れが急速に進んでいます。クラウド基盤は、企業の基幹系や情報系のシステムや開発環境の構築に加え、ビッグデータの解析や新規ビジネスの立ち上げなど事業の成長を支えるシステム構築基盤として活用され、利用目的やニーズが多様化しています。そのため、クラウド基盤の機能や性能だけでなく、開発の容易性、パフォーマンス、料金体系、セキュリティ、データセンターのロケーションなどを目的にあわせて選択し、最適な基盤の構築を要望する企業が増えています。

このたびキヤノンITSはこうしたニーズに対応し、従来のプライベートクラウドやホスティングサービスに加え、パブリッククラウドサービス「SOLTAGE」の提供を開始します。

本サービスは、国内でも最高水準のティア4レベルの「西東京データセンター」にシステムを構築することで、安心かつ安定したクラウドサービスを実現しています。さらに、セキュアで安全なシステム環境の構築のため、キヤノンITSが2003年より国内総販売代理店として提供するウイルス対策ソフト「ESET」を標準装備し、二重化した可用性の高いネットワーク、24時間監視・運用代行など、高品質なサービスを低価格で提供します。

また、お客さまの幅広いニーズに対応するためサービスラインナップも充実しました。プライベートクラウドや企業のオンプレミスとパブリッククラウドを柔軟に組み合わせたハイブリッドクラウドの構築をはじめ、オンプレミスからの移行やAWSを活用したサービス

を提供します。クラウドコンサルティングを通じて、お客さまのニーズや目的、投資効果などを多角的に判断し、お客さまに適したシステム基盤の設計や構築を行います。

キャノンITSは、これまでエンタープライズシステムの開発やデータセンターにおける24時間365日のシステム運用などで、システムライフサイクルの各フェーズで技術力を培ってきました。また、キャノンMJグループの基幹系・情報系システムや顧客企業向けのクラウドサービスの安定稼働を実現してきたノウハウを活用することで、「SOLTAGE」の提供に加えお客さまのシステムライフサイクル全般をトータルでサポートします。

一方、キャノンMJは、中小企業から大企業を対象とする広範な販売網を生かしパブリッククラウドサービス「SOLTAGE」を拡販していきます。また、グループ企業のキャノンシステムアンドサポート株式会社は、従来の中小企業向けにサービスを提供してきたHaaSサービスを、新基盤「SOLTAGE」上で展開することでクラウドサービスを強化していきます。

サービス名/サービス内容	価格（税別）	発売日
パブリッククラウドサービス「SOLTAGE」 クラウドサービス基本パッケージ ◆パッケージ構成 仮想サーバー（CPU:2vCPU、メモリ：4GB、HDD：50GB）、 仮想サーバーウイルス対策ソフト、インターネット接続回線、 ファイアーウォール、 ※オプションメニューにて、拡張可能	オープンプライス	9月30日

※パブリッククラウド「SOLTAGE」は、仮想サーバーを1台単位で提供するサービスとなり、CPU、メモリ、ハードディスクを利用者の用途にあった容量にて提供します。
※提供OS：CentOS、Windows Server、Redhat Enterprise Linuxの何れかを選択。

-
- 報道関係者のお問い合わせ先：キャノンマーケティングジャパン株式会社 広報部 広報第一グループ
03-6719-9093
 - 一般の方のお問い合わせ先：キャノンITソリューションズ株式会社 ITサービスマネジメント事業部
03-6741-9431
 - データセンターサービスホームページ : [http:// www.canon-its.co.jp/idc](http://www.canon-its.co.jp/idc)
-

■ パブリッククラウド「SOLTAGE」の主な特長

インターネット接続回線・ネットワーク機器・仮想サーバーをサービスとして提供します。

- ① ウイルス対策を重視し、仮想サーバーにウイルス対策ソフト「ESET File Security for Linux / Windows Server」を標準装備。
その他、IPS（侵入防止システム）・IDS（不正アクセス監視システム/侵入検知システム）は、個別案件として対応可能。
- ② パブリッククラウドとしても、プライベートクラウドとしても利用可能
- ③ ティア4レベルのファシリティを備えた西東京データセンターへ設置
- ④ 西東京データセンター内のハウジングサービス、物理ホスティングサービス環境と構内接続によるハイブリッド提供が可能
- ⑤ ストレージのインターフェースとしてFC-SANを採用し、パフォーマンス低下を抑制

<主な想定ニーズ>

- ① クラウドサービスを利用したいが、データの保存場所に不安がある。
西東京データセンターというリージョン固定のメリット
- ② システム構築にあたり資産は持ちたくないが、クラウドサービスには懸念がある。
パブリック+プライベートクラウド環境のハイブリッドな構築も可能
- ③ 自社サーバー室からのアウトソースにあたり、一部機能でクラウドサービスを利用したい。
ハウジング+クラウドサービスの利用が可能
- ④ AWSも利用したい。また、AWSと連携可能なクラウドサービスを利用したい。
西東京DC内に設置されたキャリア光アクセス装置を使用して、インターネットを経由しないキャリア閉域網経由で、キャリアが提供するAmazon Direct Connect接続サービスの利用が可能。
- ⑤ IT部門の要員・スキルが不足しており、ベンダーに極力任せたい。
導入支援、構築から運用までワンストップサービスで対応。

■ 西東京データセンターの概要

西東京データセンター

都心からの利便性が高いだけでなく、ティア4を実現する最新鋭の次世代データセンターです。

■ システム運用に最適なロケーション

- ・ 都心より1時間圏内
- ・ 武蔵野台地のほぼ中央（N値≧50以上）
- ・ 災害発生時の交通規制を受けない立地（環状7号線の外側）

■ 環境に配慮したグリーンDC

- ・ PUE=1.4設計
- ・ 高効率空調システム
- ・ 局所冷却設備

■ 高度なセキュリティ施設

- ・ 3Dボディスキャナー採用
- ・ ローターゲート
- ・ ICカード/生体認証
- ・ X線持物検査装置

■ きめ細かな運用サービス

- ・ システム管理
- ・ 業務システム運用
- ・ 運用監視
- ・ ファシリティ管理



建築物仕様	建設地	東京都西東京市
	階数	地下1階～地上4階
	敷地面積	16,883㎡
	構造	鉄骨造（柱CFT造） X方向・Y方向ラーメン構造
	地震対策	免震装置、制震装置、縦揺れ制震ダンパー
	階高	地下1F: 8.0m 1/2F: 5.45m 3F: 5.4m
	CPU室床高	1,000mm
	CPU室床耐荷重	1.5 t/㎡
	通信回線引込	異局ルートによる回線冗長化が可能 ※マルチキャリア対応
	電力受電	異なる変電所より複数経路にて受電
	自家発電	72時間対応
	消火設備	不活性ガス消火、超高感度煙検知器
	空調・冷却設備	床吹出型空調（17℃±2℃）、局所冷却設備（opt）

※SOLTAGEは、キャノンITソリューションズ株式会社の登録商標です。

※ESET、ESET File Securityは、ESET, spol.s r.o.の商標です。

※Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※Redhat Enterprise Linuxは、米国Red Hat Inc.の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※Amazon Web Services、AWSは、米国その他の諸国におけるAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。